

令和8年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小 論 文

中等教育教員養成課程
中等教育プログラム 音楽専攻

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙に記入すること。
2. 解答紙は、横書きとすること。
3. 解答紙には、必ず受験番号を記入すること。

〔問〕 平成 29 年告示の中学校学習指導要領（音楽）の「第 1 学年の目標と内容」には、「器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること」が示されています。また、このことについて『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編』には、次のように解説されています。

以下の解説文と自身の学習経験や音楽経験を踏まえて、「器楽表現を創意工夫すること」に関するあなたの考えを 800 字以内で述べなさい。

器楽の学習では、器楽表現を創意工夫する過程で、様々な表現を試しながら、新たな知識や技能を習得することと、既に習得している知識や技能を活用することの両方が大切になるため、知識や技能を得たり生かしたりしながらとしている。（中略）

器楽表現を創意工夫するとは、曲に対する自分のイメージを膨らませたり他者のイメージに共感したりして、音楽を形づくっている要素^{注1}の働き方などを試行錯誤しながら、表したい器楽表現について考え、どのように器楽表現するかについて思いや意図をもつことである。また、思いや意図は、創意工夫の過程において、器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、さらに深まったり新たな思いや意図となったりする。

注 1 「音楽を形づくっている要素」とは、「音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など」のことである。

出典：文部科学省、『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編』，教育芸術社，2018 年，p.44，p.116.

（設問の都合により、本文の一部を改変している）